

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールA(Seminar of Study A)	授業コード	L120414
担当教員名	廣田 篤彦	科目ナンバリングコード	L31204
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分	建築コース(選択) インテリアデザインコース(選択) 環境地域創生コース(選択)	単位数	2
履修上の注意または履修条件	指導教員の指示にしたがってください。		
受講心得	何を自分の職務とするか、自身の人生の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。		
教科書	随時、参考書籍を紹介します。		
参考文献及び指定図書	指導教員の指示にしたがってください。		
関連科目	それぞれの専門分野に関連する全科目		

授業の目的	<p>研究ゼミナール1では、自分のもっとも興味のある建築分野を研究している研究室に所属し、その指導教員のもとで、卒業研究につながる基礎的な学習や卒業研究を作成するために必要な技術を習得します。</p> <p>例えば、卒業研究につながる調査や見学、文献やビデオ教材、CADソフト等による専門分野の学習、作品制作や実験あるいはそれらのための様々な準備、資格取得のための勉強会など、指導教員により指導内容は異なります。各指導教員のもとで各自がそれぞれのテーマを設定し、上級生である卒業研究生や大学院生らと協力して自主的に研究活動を行ってください。</p> <p>また、各指導教員と親密に接触できる絶好のチャンスでもあります。それぞれの専門分野に対する理解を深めるためにも積極的に取り組むことが大切です。</p>
授業の概要	<p>二世帯住宅の設計技法を習得する。</p> <p>ホームページの作り方を体験する。</p> <p>また、磯崎建築の調査レポートを通して、パワーポイントを使用した発表の技法を習得する。中判田駅周辺開発プロジェクト</p>

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ガイダンス ゼミナールの進め方、及び内容について説明する。 卒研究生の紹介、ゼミナール室の見学。	配布資料の予習・復習
第2週：二世帯住宅(1) 高齢者の住まい 二世帯住宅の設計のポイント	配布資料の予習・復習
第3週：二世帯住宅(2) 建物探訪 ①狭小敷地、②変形敷地、③大空間、④環境共生、⑤スタイリッシュ	配布資料の予習・復習
第4週：二世帯住宅(3) ダイニングキッチンの誕生 ①流しの位置、②ステンレスの採用、③DKの配置計画	配布資料の予習・復習
第5週：建築の実務 ①建築学とは、②建築の大系、③建築の業種	配布資料の予習・復習
第6週：課外学習(1)	

「おおいた花と緑のオープニングガーデン」見学会		配布資料の予習・復習 課題作成
第7週：課外学習(2) 中半田駅周辺開発プロジェクト 第1回検討委員会		配布資料の予習・復習 課題作成
第8週：ホームページ(1) ホームページの仕組み、作成方法について学習する(講義) ソフトウェアの使い方を理解する。		配布資料の予習・復習 写真による記録
第9週：ホームページ(2) 基本ページ作成の練習		配布資料の予習・復習
第10週：ホームページ(3) フレームの作成 ロールオーバーの設定		配布資料の予習・復習 課題作成
第11週：課外学習(3) 中半田駅周辺開発プロジェクト 第2回検討委員会		配布資料の予習・復習 課題作成
第12週：ホームページ(5) 「どこでも配置モード」の練習 My HomePageの作成 - 1		配布資料の予習・復習 課題作成
第13週：ホームページ(6) My HomePageの作成 - 2		配布資料の予習・復習 課題作成
第14週：ホームページ(7) My HomePageの作成 - 3		配布資料の予習・復習 課題作成
第15週：課外学習(4) 中半田駅周辺開発プロジェクト 第3回検討委員会		配布資料の予習・復習 議事の記録
第16週：		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	大分の磯崎建築を見学・調査し、建築への理解を深める。
【知識・理解】	二世帯住宅の設計法を理解する
【技能・表現・コミュニケーション】	①自分のホームページを作成する ②パワーポイントの操作を修得し、レポートの作成や発表の技法を習得する。
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			15点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		15点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		70点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について)				
※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	